



データボード ⑪⑤

- ① 愛媛県大洲市柚木
- ② 面積44.9ha
- ③ 登山道、駐車場、四阿、展望台、自由広場など
- ④ ツツジ約60,000本
- ⑤ つつじまつり、モデル撮影会

富士山は大洲盆地のほぼ中央に位置し、その姿が富士山に似ていることから、この名が付けられている。標高三二〇メートルの頂上に登ると大洲盆地を一望することができ、大洲市民のシンボルの存在として親しまれている。

「富士山公園」は昭和三十五年から整備が進められているもので、現在では二車線の登山道や駐車場、四阿、展望台、自由広場等が設置された総合公園となっている。園内には西日本随一の規模をほこる六万本ものツツジがあり、開花時期にあたるゴールデンウィークには多くの入客で賑わう。

このツツジは昭和四十一年から、市民によって植栽が続けられているもので、市の花木にも制定され、市民の自然を愛する心を育んでいる。